

産業建設分科会委員長報告

(H 2 6 . 9 . 3 0)

産業建設分科会に付託されました平成25年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、平成25年度一般会計決算の本分科会所管分であります。その主なものは、

- ・ 労働費では、緊急雇用創出事業による就労支援
- ・ 農林水産業費では、持続的発展をめざした農業振興施策
- ・ 商工費では、地域経済活性化に向けた商工業振興対策や観光推進事業
- ・ 土木費では、安全で快適な生活を支える道路網整備や耐震化促進事業
- ・ 災害復旧費では、昨年台風18号により被害を受けた農地や道路等の災害復旧事業であり、

一部、不用額、繰越額もありますが、概ね予算に沿った事務事業が執行されていきました。

討論では、反対討論として、多発する集中豪雨等、気候変動に対応した施策を全体的に推進する流れにある中、まちづくりの方向性が大規模スポーツ施設の具体化にシフトしていくことが前提にあり、矛盾しているとの意見。

賛成討論として、水害常襲地への治水対策の実施、災害復旧への早期対応、国の大型補正予算による繰越事業も踏まえ、適切な執行に努められたことを評価するとの意見があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。なお、今後においても、集中豪雨対策等、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進に一層努められることが望まれます。

次に、平成25年度簡易水道事業特別会計決算であります。地域住民の生活用水を安定供給するための施設管理及び配水管布設替工事等が主なものであり、採決の結果は、別段異論なく、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度地域下水道事業特別会計決算であります。生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るための施設管理や水洗化促進事業等が主なものであり、使用料改定に関わる反対討論、適切な予算執行を評価する賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度上水道事業会計決算であります。建設事業においては、畑野町水道未普及地域解消事業に係る給・配水管布設工事の完了により、給水区域拡大の大きな事業展開がみられました。

一方、経営状況は、7,636万5千円の純利益を計上し、前年度繰越欠損金を加えた未処理欠損金は、9億7908万5千円に減少しましたが、節水意識の定着等による年間給水量の減少、維持管理等の増大から、今後ともより一層の経営努力が望まれます。

討論では、料金改定による水需要の減少を指摘する反対討論、経営努力を評価する賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成25年度下水道事業会計決算であります。建設事業においては、処理区域の拡大を図るための管渠布設工事や年谷浄化センターの改築更新事業が継続して実施されました。

経営状況は、8,178万3千円の純利益を計上し、前年度繰越欠損金を加えた未処理欠損金は、8億6720万8千円に減少しましたが、今後もより一層の経営努力による健全な事業運営が望まれます。

討論では、使用料改定に関わる反対討論、経営努力を評価する賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。

産業建設分科会

平成26年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	鳥獣対策事業 < 農林振興課 >	継続(拡充)	防除柵とわなの併設等、有効な対策について、地元や猟友会等と十分検討し、実施主体である猟友会等に必要な支援を行うこと。 里山の改善等、他の事業を組み合わせることで総合的な対策を講じることにより、農林作物被害の防止、軽減に一層努められたい。
2	観光推進事業(城下町観光) < 観光戦略課 >	継続(拡充)	城下町のにぎわい創出に向けたビジョンを明確にし、町家・景観に対する地元住民への啓発や城下町の情報発信に努めることにより、地元・民間活力の参画を得て、効果的な事業展開が図られることを望む。
3	排水路新設改良事業 < 土木管理課 >	継続(拡充)	浸水被害地における早期着工を高く評価する。今後、雨水排水事業の全体計画を推進する中で、よりきめ細かな対策に継続して取り組まれたい。